

ふるさと教育 取組事例

学校名	飯南町立頓原中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な 学習の時間	隠岐交流体験学習	隠岐島前、海士中、しめ縄制作
ねらい	<p>(1) 旅行地の歴史、文化、産業、生活の様子などの見学や体験、交流学习から、生活環境の異なるそれぞれの地域（中山間地域、沿海地域）の魅力や課題の共通点・違いについて学び、飯南町の将来についての展望を広げたり、自分のこれからの生き方についての考えを深めたりする。（生命地域学を主としたねらい）</p> <p>(2) 赤来中、海士中の生徒や隠岐の島の方との交流、見学や体験、宿泊などを通して、自分たちで考え、行動や問題を解決する力を身につける。</p> <p>(3) 体験を通して、望ましい集団生活のあり方や公衆道徳について考え行動する。</p>		
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班編成、役割分担決め ・ 合同学習会（係会等） ・ しめ縄づくり ・ 交流体験学習 ・ オンライン交流会 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちのふるさとについて調べ、発表プレゼンを作り、海士中の生徒に飯南町の魅力を紹介する場面を設定した。 ・ 現地でお世話になった方々へ渡すためのしめ縄づくりを行った。その際に、大しめなわ創作館の方々に指導をしてもらいながら交流する場面を設定し、ふるさとへの愛着と誇りを高めることができるようにした。 <p>（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちのふるさとについて調べた情報を整理し、相手に伝わりやすい発表を行う場面を設定することで、生徒の思考力や表現力の向上を目指した。 ・ 赤来中や海士中の生徒、地域の方や見学・体験先の方との交流を通して、自ら考え行動する場面を設定し、生徒の学びに向かう姿勢の向上を目指した。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に伝える意識をもち、飯南町の魅力を紹介することができた。 ・ ふるさとの特産品であるしめ縄を心を込めて作ることができた。 <p>（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に伝わりやすい発表を行うために工夫してプレゼンを作成し発表することができた。 ・ 班や係の活動や交流の場面において、自ら考え行動しようとする姿勢がみられた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しめ縄づくりなど、地域の特色ある活動を経験し、それをさらに外へ広げていく活動はふるさと教育として大変意味のある活動だと感じている。今後の学習にも取り入れていきたい。 			

令和5年度 ふるさと教育推進事業

